

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは客の入込が大変多かった。中心商店街でのイベントの動員数も、前年に比べ約3割増加した。また、母の日及びそれ以降の春夏物の商品の動きもかなり良い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・政府の景気対策の影響で5月中旬までは一時的に来客数が増えた。しかし、5月後半になると効果はほとんど無くなっているようで、既にここ数か月と同じになった。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エコポイント付与対象商品を中心に売上が少し上昇している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・冷え込んでいた2月、3月と比べ、景気悪化の下げ止まり感が出てきているという情報がマスコミから流れ出してから、家族連れの客が少しずつ目に付きだした。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・加入数が微増になっており、加入に結びつかなくても反応がよい。
	変わらない	観光名所（職員）	来客数の動き	・団体客よりも個人の客がかなり増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・経済不況は長引く可能性があり、特に地方都市は好景気時の実感さえ味わっていない。新型インフルエンザの影響は一時的に治まっても、秋以降の再発不安があり、消費者の行動は極めて懐疑的である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・景気は底を打ったように感じる。そのため、景気は悪いが、更に悪化ということは今のところみられない。特に、肌着等の身の回り品の動きが少し活発になってきた。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・一時期よりはひどくないが、それでも前年実績を下回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィークや高速道路料金引下げの効果で他県からの流入もあり、売上は食品を中心に回復してきた。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・人口は増えないのに、新規の店舗のみが増えている。競争が厳しくなって、客を取り合って、なかなか売れず、各社とも価格がどんどん低下している。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の売上が、前年に比べて若干下降気味である。オーバーストアが影響している。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・客数及び客単価共に目立った動きが見られない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税と定額給付金の給付の効果で、低公害車の受注は堅調である。一方、従来の車の売行きは、相変わらず良くない。		
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・車の登録台数が、3月以降、4月、5月とあまり伸びていない。		
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・競争の激化した地域では客数の減少が発生し、商品価格の引下げなどを実施しているが、客数の回復に至る動きはない。		
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・昨年の下期から続いている不景気により旅行需要は低迷している。そのうえ突然の新型インフルエンザの流行により、円高と燃油サーチャージの廃止で比較の出足のよかった海外パッケージ旅行もキャンセルが相次ぎ、5月の売上は低調であった。企業の業務出張も不景気と新型インフルエンザの流行により減少しており、航空券の売上は前年比マイナスになっている。		
タクシー運転手	単価の動き	・依然として景気が悪く利用客が増えない。		
通信会社（管理担当）	販売量の動き	・来客数は低迷気味であり、景気回復傾向はあまり見られない。		
通信会社（支店長）	お客様の様子	・個人消費の刺激策として、定額給付金の給付がなされているが、客は極めて慎重である。購入に至るまでには非常に時間を要し、結果として検討するといったまま終わるケースも多い。		

	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・前年度の業績データが出揃ってきているが、同業者は軒並み売上が減少し、手持ちの仕事量も少ない。公共事業の前倒しによる発注に期待するも、質・量ともに不明のため、我慢の時間が続いている。
やや悪くなっている	一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響で、来客数が減っている。
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	来客数の動き	・新型インフルエンザのテレビ報道の影響からか、昼休みの時間帯や夕方以降の来客数が減少した。
	スーパー（店長）	単価の動き	・4月から客単価の低下傾向がみられ、5月も続いている。
	スーパー（企画担当）	単価の動き	・食品の販売価格が値下げ傾向にあり、客単価の下落が顕著に見られる。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・売上は5日までは前年に比べて良かった。しかし、天候及びインフルエンザの影響で、人混みをやや回避する意識があったのか、一番の書き入れ時の土日が厳しく、その分だけ、1か月通して厳しかった。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・アウトレットや特売の企画を行うと集客があり、目標を達成するが、春夏商品の販売額は前年実績を2割以上も下回っている。全体でも5月は前年比10%強のマイナスで終わりそうである。
	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・冷蔵庫の動きが良くなっている。しかし、今月は、税金等の支出で、家計が前年より厳しいとの声をよく耳にする。全体的には、前年比を先月より10%近く下回っている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークから持ち直す動きが若干あったが、新型インフルエンザの影響で、予約のキャンセルと出控えがあった。
	タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークで病院や会社が休んでおり、タクシーはあまり動かなかった。また、待ち時間が非常に長くなっている。昼もそうであるが、特に夜は、以前だと1時間か1時間半ぐらい並ぶと順番が来ていたのが、2時間以上掛かる。それでもある程度遠くへ行けばいいが、近くで終わってしまう。なかなか売上が伸びない状態である。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・前年から比べると、来客数が落ちており、予約も少ない状況である。
悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・納入先の料飲店では、後継者不在のため秋口または年末までに廃業するという事例が多数発生した。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数は若干の減少となった。売上高は、ファッションパーツおよび婦人靴が前年並みを確保したが、宝飾品、美術品、呉服等は前月同様に苦戦した。その他商品も総じて前年並みを確保できなかった。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・お買得品であっても必要としない商品には興味を持たない傾向が強い。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・様々な訴求を行っても反応が鈍く、来店頻度が増えないため売上が厳しくなっている。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・購入目的の来客数の減少と共に受注状況も登録ベースで前年比77.1%と最悪の状況である。政府から新車購入補助金の概要が発表された後、買い控えが目立つ。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークもあったが、新型インフルエンザの影響で入込客が前年より10%近く減少している。高速道路料金引下げの効果は、マイカーが増えたということであり、バスや飛行機、鉄道は減っている。商店街等の売上はそれなりに伸びたが、宿泊施設にとってはパイの大きさが決まっており、また日帰り客が増えたので、悪い状況は続いている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・売上高、客単価共に悪い。5月は株主総会等の会合が多いが、会合後、そのまま帰っている状況が多いようである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・景気が低迷しているなか、高速道路料金引下げで、週末は県外へ出かけ、平日は新型インフルエンザを警戒してか外出を控えている。そのため、平日・休日共に来客数及び客単価が減少傾向にあり、このままでは廃業も真剣に考える時期に来ている。

		設計事務所（所長）	それ以外	・新築マンションが定価では売れず、新古マンションとなって多く流通している。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	輸送業（社員）	受注量や販売量の動き	・製紙業界の原料費及び受注数量が今月に入って2割程度増加に転じている。製造業各社における受注数量も前年下期の水準からは抜け出て、増加傾向である。
		通信業（営業担当）	それ以外	・家電量販店のマネージャーとの会話の中で、「エコポイント制度がスタートし、その影響で冷蔵庫、地上デジタル放送対応テレビの売上は、広告の効果もあり前年以上の増加である。来月からはエアコンについても力を入れ、販売の拡大を図りたい。」との前向き、強気の発言を聞き、個人消費回復に向けた空気を感じた。
	公認会計士	取引先の様子	・顧問先の今月の決算、月次の試算表等の前月比、前年比をみると、観光業を中心にやや改善傾向がみられる。建設関係は、まだ前年比マイナスが続いているが、一部において、やや持ち直しがみられるという状況である。	
変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷動きは依然として悪い。更に値下げ要請が強くなってきている。
		建設業（経営者）	それ以外	・ここ1か月以内に、市内の同業者1社と隣町の1社が、いずれも老舗であったが倒産した。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・季節変動による変化が大きいと感じるが、必ずしも良くなっていない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・客との会話の中では、ここ3か月程度、景気が上向き印象はない。どちらかという、低迷した状態である。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量は確保できているものの、利益に直接結びつかない。本来であれば、もっとたくさんの仕事を確保して利益を出したいところだが、非常に難しい状態である。
やや悪くなっている		食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・安い商品でないと売れなくなってきている。
		繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・新規取引先の開拓により売上は前年を上回っているが、最近では関西の小売店が異常に悪い。新型インフルエンザの影響で店頭に来ない人が多く、不況に加えてダブルパンチである。当地からの出荷も全体的には相当厳しい。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・市況は悪化の一途で、商談件数が伸びてこない。橋梁工事や大型のプラント工事は、大手に仕事がかたよっており、中堅、個人のユーザーは厳しい状況が続いているため、新規機械を購入できるような状況にない。
		輸送業（支店長）	競争相手の様子	・ゴールデンウィーク明けから貨物量が激減し、低調のまま推移している。
悪くなっている		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2月、3月の住宅着工戸数はかつてないほど悪い。その影響で業況は史上最悪である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当業界は、早めに見積りや受注を行うが、さっぱり引き合いがないという状況が続いている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・4月末でほとんどの工事が完了し、手持ち工事が極端に少なくなっている。新規受注案件がなく不安である。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・企業の採用状況は低調なままで採用広告が減っている上に、ホームページのリニューアルやパンフレット制作、就職イベントなど採用に付随した様々な仕事が減っている。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新規求人数の減少が激しい。地元の中核的な企業が生産調整をしており、その影響で関連企業の間で連鎖的に雇用調整が行われている。	

	民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・採用に関しては、ハロ-ワ-ク、雇用安定センター等の公共機関を利用する企業が増加しており、採用に関して費用を使いたくないという企業が増えている。有料の職業紹介会社としては、官が民を圧迫している感じがする。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業などから送られてくる求人数や求人数が、前年の同時期と比べてやや悪い。
悪く なっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・例年不動産業者が多数協賛している新聞広告の企画があるが、マンション、建て売り、宅地分譲、仲介を問わず動きがなく、今年は非常に不調である。車関係もメーカー出稿が細々とはあるものの、カーディーラーは低調である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・10人以上の大口求人が極端に減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前に比べて、新規求人倍率は0.4ポイント、有効求人倍率も、0.28ポイント低下した。求人の正社員率も低下する一方で、パート求人が急増している。また、求人の中身も警備や飲食店、短期のスポット物などが目立つ。